平成23年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年２月10日

上場会社名　リゾートトラスト株式会社　　上場取引所 東名
コード番号　4681　　ＵＲＬ　http://www.resorttrust.co.jp
代表者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)　伊藤　勝康
問合せ先責任者　(役職名)執行役員 経営企画・IR室長　(氏名)　相川　千絵 (TEL)　(052)933-6519
四半期報告書提出予定日　平成23年２月14日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第３四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第３四半期	73,991	13.0	10,241	51.9	10,190	53.7	5,507	69.5
22年３月期第３四半期	65,480	△1.4	6,742	69.3	6,631	62.7	3,249	739.4

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年３月期第３四半期	119.22	118.71
22年３月期第３四半期	70.37	70.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年３月期第３四半期	251,392	63,499	22.5	1,221.59
22年３月期	256,573	60,273	20.7	1,152.74

（参考）自己資本　23年３月期第３四半期　56,472百万円　22年３月期　53,233百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年３月期	―	15.00	―	20.00	35.00
23年３月期	―	20.00	―		
23年３月期(予想)				20.00	40.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	6.1	13,000	16.2	13,000	19.1	6,000	43.4	129.89

（注）当四半期における業績予想の修正有無　：無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.４「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：無
　新規　　社　（社名）　　、除外　　社　（社名）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
　①　会計基準等の改正に伴う変更　：有
　②　①以外の変更　　：有
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年３月期３Ｑ	51,705,748株	22年３月期	51,705,748株
② 期末自己株式数	23年３月期３Ｑ	5,476,997株	22年３月期	5,525,727株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年３月期３Ｑ	46,192,573株	22年３月期３Ｑ	46,171,663株

（注）平成23年３月期第３四半期の自己株式数には、平成22年11月11日開催の当社取締役会決議に基づくＥＳＯＰ「株式給付信託（従業員持株会発展型プラン）」導入において設定した、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式（当第３四半期連結会計期間末現在522,900株）が含まれております。

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報 4
２．その他の情報 4
(1)　重要な子会社の異動の概要 4
(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 4
(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 4
３．四半期連結財務諸表 6
(1)　四半期連結貸借対照表 6
(2)　四半期連結損益計算書 8
【第３四半期連結累計期間】
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書 10
(4)　継続企業の前提に関する注記 12
(5)　セグメント情報等 12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 14
４．補足情報 14
(1)　販売実績 15
(2)　契約実績 16
(3)　ホテル別 売上高・消費単価 17
(4)　ホテル別 宿泊客数・室稼働率 18

１．当四半期連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① 当第３四半期連結累計期間の概況

	前第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（計画）	前年同期比	計画比
売上高	65,480百万円	73,991百万円	74,000百万円	＋13.0%	△0.0%
営業利益	6,742百万円	10,241百万円	9,600百万円	＋51.9%	＋6.7%
経常利益	6,631百万円	10,190百万円	9,600百万円	＋53.7%	＋6.1%
四半期純利益	3,249百万円	5,507百万円	5,600百万円	＋69.5%	△1.7%

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で景気回復の兆しが見えつつあるものの、雇用・所得環境、個人消費の低迷等に大きな変化は無く、依然として先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、前期に引き続き平成20年3月に開業した都市型会員制リゾートホテル「東京ベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したほか、当期末（平成23年3月）開業予定の「エクシブ有馬離宮」についても計画通り順調に販売が進んでおります。また、ホテル運営におきましては、平成22年3月に開業を迎えた高級会員制リゾートホテル、「離宮シリーズ」第２弾「エクシブ箱根離宮」が通期稼動し、その運営収益や年会費等が収益貢献いたしました。

この結果、第３四半期連結累計期間における連結業績につきましては、会員権販売が好調であったこと、前期末に開業を迎えた高級会員制リゾートホテル「エクシブ箱根離宮」が通期稼動したことなどにより、売上高は73,991百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は10,241百万円（前年同期比51.9%増）、経常利益は10,190百万円（前年同期比53.7%増）、四半期純利益は5,507百万円（前年同期比69.5%増）と、増収増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

② セグメントの業績概況

※第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しております。これによる事業区分へ与える影響は軽微なため、前年同期比較を行っております。なお、「セグメント利益」は営業利益であります。

【会員権事業】

	前第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（計画）	前年同期比	計画比
売上高	17,479百万円	20,704百万円	20,600百万円	＋18.4%	＋0.5%
セグメント利益	1,893百万円	4,171百万円	3,814百万円	＋120.2%	＋9.4%

会員権事業におきましては、「東京ベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（実績）	当第３四半期連結累計期間（計画）	前年同期比	計画比
売上高	37,440百万円	40,756百万円	40,874百万円	＋8.9%	△0.3%
セグメント利益	3,904百万円	4,923百万円	4,701百万円	＋26.1%	＋4.7%

ホテルレストラン等事業におきましては、前期（平成22年3月22日）に開業した高級会員制リゾートホテル「エクシブ箱根離宮」が通期稼動し、その運営収益や年会費等が収益貢献したことなどにより増収増益となりました。

【ゴルフ事業】

	前第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （計画）	前年同期比	計画比
売　上　高	6,189百万円	6,150百万円	6,187百万円	△0.6%	△0.6%
セグメント利益	475百万円	498百万円	510百万円	＋5.0%	△2.2%

ゴルフ事業におきましては、ゴルフ場の稼動が減少したことなどにより減収となったものの、間接費等の減少により減収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （計画）	前年同期比	計画比
売　上　高	4,171百万円	6,192百万円	6,152百万円	＋48.5%	＋0.7%
セグメント利益	239百万円	499百万円	421百万円	＋108.4%	＋18.6%

メディカル事業におきましては、当期よりシニアレジデンス事業を営む子会社３社（㈱ウェル・トラスト、ヒューマンライフサービス㈱、トラストガーデン㈱）を連結化したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （実績）	当第３四半期 連結累計期間 （計画）	前年同期比	計画比
売　上　高	199百万円	187百万円	187百万円	△6.0%	＋0.4%
セグメント利益	229百万円	148百万円	154百万円	△35.1%	△3.5%

その他におきましては、賃貸料収入の減少などにより減収減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は251,392百万円（前連結会計年度比5,180百万円の減少）となりました。これは、メディカル事業子会社３社の新規連結により総資産が6,783百万円増加しましたが、会員権販売に伴うたな卸し資産の減少や、工事代金の支払いや納税、及びシンジケートローンの契約更新による借入金の返済等に伴い、現金及び預金などが減少したことなどによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は187,893百万円（前連結会計年度比8,407百万円の減少）となりました。これは、短期借入金や未払法人税等の減少などによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は63,499百万円（前連結会計年度比3,226百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金の増加などによるものであります。その結果、当第３四半期連結会計期間末における自己資本比率は 22.5%（前連結会計年度比1.7ポイント増）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月14日付で、業績動向を踏まえ業績予想の修正を行いました。平成22年５月13日に発表したものより、売上高は下回るものの、利益は上回る見通しとなっております。

詳細は、平成22年10月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年10月14日付　平成23年３月期 通期連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

	前連結会計年度(実績)	当連結会計年度(計画)	前年同期比
売　上　高	103,645百万円	110,000百万円	＋6.1%
営 業 利 益	11,191百万円	13,000百万円	＋16.2%
経 常 利 益	10,916百万円	13,000百万円	＋19.1%
当期純利益	4,184百万円	6,000百万円	＋43.4%

当社グループの平成22年度（平成23年３月期）の事業計画は、「エクシブ箱根離宮」の通期稼動に伴う運営収益が貢献すること、また、「エクシブ有馬離宮」（平成23年３月開業予定）の開業に伴い、不動産部分の売上が一括計上されることなどから、当社グループ全体として売上高 110,000百万円（前年同期比 6.1%増）、営業利益 13,000百万円（同 16.2%増）、経常利益 13,000百万円（同 19.1%増）、当期純利益 6,000百万円（同 43.4%増）と増収増益を見込んでおります。

２．その他の情報

（１） 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２） 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（会計処理の原則・手続きの変更）

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年３月10日）を適用しております。これによる、当第３四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響はありません。

②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は１百万円、税金等調整前四半期純利益は31百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は94百万円であります。

③「企業結合に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号　平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年12月26日公表分）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）を適用しております。

④連結子会社アール・シー・アイ・ジャパン㈱における年会費収益計上方法の変更

連結子会社のアール・シー・アイ・ジャパン㈱の年会費収益の計上については、従来、支払期限到来時に一括して収益計上を行っておりましたが、当第３四半期連結会計期間より、年会費の有効期間にわたり月次均等計上する方法に変更いたしました。

この変更は、年会費の管理システムの拡充が当第３四半期連結会計期間において行われ、月次均等計上が可能となったこと、及び、親会社であるリゾートトラスト株式会社の会計方針と統一するために変更したものであります。

この変更に伴い、従来の方法と比較し、当第３四半期連結累計期間の売上高は134百万円、営業利益及び経常利益は117百万円、税金等調整前四半期純利益は476百万円それぞれ減少しております。また、当第２四半期連結累計期間において変更後の方法によった場合、当第２四半期連結累計期間の売上高は285百万円、営業利益及び経常利益は233百万円それぞれ増加し、税金等調整前四半期純利益は125百万円減少いたします。

なお、セグメントに与える影響は、当該箇所に記載しております。

（表示方法の変更）

①四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

（追加情報）

①ＥＳＯＰ「株式給付信託（従業員持株会発展型プラン）」

当社は、平成22年11月11日開催の取締役会決議に基づき、従業員の福利厚生の増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「ＥＳＯＰ（従業員持株会発展型プラン）」を導入いたしました。

当プランでは、今後５年間にわたり「リゾートトラスト従業員持株会」（以下、「持株会」といいます。）が取得する見込みの当社株式を、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託口）（以下、「信託口」といいます。）が予め一括して取得し、持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。

当該自己株式の処分に関する会計処理については、経済的実態を重視する観点から、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしており、信託口が所有する当社株式や当該信託の資産及び負債、収益及び費用については、四半期連結貸借対照表及び四半期連結損益計算書並びに四半期連結キャッシュ・フロー計算書に含めて記載しております。

このため、自己株式数については、信託口が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。

なお、当第３四半期連結会計期間末における自己株式数は以下の通りであります。

自己株式数	5,476,997株
うち当社所有自己株式数	4,954,097株
うち信託口所有自己株式数	522,900株

３．　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,894	20,352
受取手形及び売掛金	4,156	3,604
営業貸付金	27,205	28,350
有価証券	20,200	17,899
商品	358	346
販売用不動産	18,969	23,240
原材料及び貯蔵品	1,009	859
仕掛販売用不動産	20,746	18,626
繰延税金資産	3,182	4,722
その他	4,088	3,712
貸倒引当金	△955	△1,169
流動資産合計	113,855	120,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,736	52,732
機械装置及び運搬具（純額）	2,346	2,914
コース勘定	12,338	12,338
土地	27,801	25,582
建設仮勘定	3,726	3,311
その他（純額）	4,925	5,538
有形固定資産合計	103,874	102,417
無形固定資産		
のれん	315	－
ソフトウエア	1,026	1,178
その他	2,322	2,544
無形固定資産合計	3,665	3,723
投資その他の資産		
投資有価証券	10,461	9,614
関係会社株式	1,909	2,955
長期貸付金	3,806	5,187
繰延税金資産	1,434	980
その他	18,745	17,894
貸倒引当金	△6,344	△6,726
投資損失引当金	△14	△20
投資その他の資産合計	29,998	29,886
固定資産合計	137,537	136,027
資産合計	251,392	256,573

(単位：百万円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,077	735
短期借入金	8,400	15,000
1年内返済予定の長期借入金	11,154	11,088
1年内償還予定の社債	1,968	1,968
未払法人税等	427	5,685
未払消費税等	754	723
前受金	11,780	9,504
前受収益	9,246	5,097
関係会社整理損失引当金	―	188
その他	10,027	15,488
流動負債合計	54,836	65,480
固定負債		
社債	5,940	7,099
長期借入金	13,824	13,483
繰延税金負債	2,194	1,450
退職給付引当金	755	636
役員退職慰労引当金	1,433	1,560
長期預り保証金	102,806	102,765
負ののれん	979	13
資産除去債務	89	―
その他	5,034	3,810
固定負債合計	133,057	130,820
負債合計	187,893	196,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,258	14,258
資本剰余金	13,906	13,906
利益剰余金	37,363	33,877
自己株式	△8,986	△9,066
株主資本合計	56,542	52,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69	257
評価・換算差額等合計	△69	257
新株予約権	430	189
少数株主持分	6,596	6,849
純資産合計	63,499	60,273
負債純資産合計	251,392	256,573

(2) 四半期連結損益計算書
【第３四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)
売上高	65,480	73,991
売上原価	12,418	13,906
売上総利益	53,062	60,084
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	17,979	19,058
役員退職慰労引当金繰入額	88	41
修繕維持費	1,511	1,567
貸倒引当金繰入額	195	―
水道光熱費	2,676	3,071
減価償却費	3,929	4,166
その他	19,939	21,937
販売費及び一般管理費合計	46,320	49,843
営業利益	6,742	10,241
営業外収益		
受取利息	226	192
受取配当金	21	22
割賦利息及び手数料	8	8
持分法による投資利益	7	6
負ののれん償却額	9	100
法人税等還付加算金	59	―
その他	130	124
営業外収益合計	462	453
営業外費用		
支払利息及び社債利息	219	179
前受金保証料	76	36
シンジケートローン手数料	―	60
控除対象外消費税等	149	163
その他	128	65
営業外費用合計	573	505
経常利益	6,631	10,190
特別利益		
固定資産売却益	3	3
関係会社株式売却益	6	196
投資損失引当金戻入額	3	6
貸倒引当金戻入額	―	143
関係会社整理損失引当金戻入額	―	188
その他	―	4
特別利益合計	13	542

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	57	99
固定資産売却損	1	67
投資有価証券評価損	12	11
関係会社株式売却損	4	0
貸倒損失	―	13
貸倒引当金繰入額	253	288
寄付金	45	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	29
年会費期間配分修正損	―	359
その他	17	70
特別損失合計	392	938
税金等調整前四半期純利益	6,252	9,793
法人税、住民税及び事業税	3,215	2,982
法人税等調整額	△218	1,274
法人税等合計	2,997	4,256
少数株主損益調整前四半期純利益	―	5,537
少数株主利益	6	30
四半期純利益	3,249	5,507

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,252	9,793
減価償却費	4,443	4,551
のれん及び負ののれん償却額	27	△41
貸倒引当金の増減額（△は減少）	445	△568
退職給付引当金の増減額（△は減少）	275	303
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	31	△126
受取利息及び受取配当金	△247	△214
支払利息及び社債利息	219	179
投資有価証券評価損益（△は益）	12	11
投資損失引当金の増減額（△は減少）	△3	△6
売上債権の増減額（△は増加）	△358	345
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,305	1,990
仕入債務の増減額（△は減少）	308	259
未払金の増減額（△は減少）	△1,291	△3,915
前受金の増減額（△は減少）	6,057	2,247
長期預り保証金の増減額（△は減少）	△692	22
未払消費税等の増減額（△は減少）	630	65
その他	1,903	2,007
小計	15,707	16,903
利息及び配当金の受取額	206	264
利息の支払額	△206	△167
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	262	△8,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,971	8,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,577	△2,481
定期預金の払戻による収入	7,136	6,631
有価証券の取得による支出	△12,495	△22,898
有価証券の売却及び償還による収入	15,500	14,500
投資有価証券の取得による支出	△2,917	△2,399
投資有価証券の売却及び償還による収入	－	1,000
関係会社株式の取得による支出	△24	△29
関係会社株式の売却による収入	93	92
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,490	△3,450
貸付けによる支出	△286	△444
貸付金の回収による収入	74	985
その他	△446	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,433	△7,264

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△10,929	△6,600
長期借入れによる収入	9,239	9,530
長期借入金の返済による支出	△6,412	△9,098
社債の発行による収入	3,453	－
社債の償還による支出	△824	△1,159
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の処分による収入	12	65
配当金の支払額	△1,385	△1,847
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	1,367	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,479	△9,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,058	△8,159
現金及び現金同等物の期首残高	17,060	31,592
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	59	821
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,179	24,254

(4)　継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5)　セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	会員権事業	ホテルレストラン等事業	ゴルフ事業	メディカル事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	17,479	37,440	6,189	4,171	199	65,480	－	65,480
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7	1,744	51	1	408	2,212	(2,212)	－
計	17,486	39,185	6,240	4,172	607	67,693	(2,212)	65,480
営業利益	1,893	3,904	475	239	229	6,742	－	6,742

（注）１.事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

２.各事業区分の主要な事業内容

会員権事業……ホテル会員権の販売及びホテル会員権購入者を対象とした金銭の貸与

ホテルレストラン等事業……ホテル・レストラン等の運営、ホテルの清掃、会員サービス（ワンダーネット事業の売上高、継続料収入、名義変更料、旅行部門の売上高、通販売上、会員制ホテルの交換利用における手数料収入）、損害保険代理業、ヘアアクセサリー等の製造・販売及びトータルビューティー事業、テレマーケティング事業

ゴルフ事業……ゴルフ場の建設及び経営、ゴルフ会員権の販売及びゴルフ会員権購入者を対象とした金銭の貸与

メディカル事業……メディカル会員権の販売、その管理及びメディカル会員権購入者を対象とした金銭の貸与、医療施設経営のコンサルティング事業、医療設備賃貸業

その他事業……不動産の賃貸、別荘管理等

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）における本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）における海外売上高は、連結売上高の10％未満のため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、４つの事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「会員権事業」、「ホテルレストラン等事業」、「ゴルフ事業」及び「メディカル事業」の４つを報告セグメントとしております。

「会員権事業」は、ホテル会員権の販売及びホテル会員権購入者を対象とした金銭の貸与を行っております。「ホテルレストラン等事業」は、ホテル・レストラン等の運営、ホテルの清掃、会員サービス（ワンダーネット事業の売上高、継続料収入、名義変更料、旅行部門の売上高、通販売上、会員制ホテルの交換利用における手数料収入）、損害保険代理業、ヘアアクセサリー等の製造・販売及びトータルビューティー事業、テレマーケティング事業を行っております。「ゴルフ事業」は、ゴルフ場の建設及び経営、ゴルフ会員権の販売及びゴルフ会員権購入者を対象とした金銭の貸与を行っております。「メディカル事業」は、メディカル会員権の販売、その管理及びメディカル会員権購入者を対象とした金銭の貸与、医療施設経営のコンサルティング事業、医療設備賃貸業、居宅介護サービス事業を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	ゴルフ事業	メディカル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,704	40,756	6,150	6,192	73,803	187	73,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	1,569	47	1	1,633	401	2,035
計	20,719	42,326	6,197	6,194	75,437	589	76,026
セグメント利益	4,171	4,923	498	499	10,092	148	10,241

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

３　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	10,092
「その他」の区分の利益	148
四半期連結損益計算書の営業利益	10,241

４　会計処理基準に関する事項の変更

（連結子会社アール・シー・アイ・ジャパン㈱における年会費収益計上方法の変更）

連結子会社のアール・シー・アイ・ジャパン㈱の年会費収益の計上については、従来、支払期限到来時に一括して収益計上を行っておりましたが、当第３四半期連結会計期間より、年会費の有効期間にわたり月次均等計上する方法に変更いたしました。

この変更は、年会費の管理システムの拡充が当第３四半期連結会計期間において行われ、月次均等計上が可能となったこと、及び、親会社であるリゾートトラスト株式会社の会計方針と統一するために変更したものであります。

この変更に伴い、従来の方法と比較し、当第３四半期連結累計期間の売上高は、ホテルレストラン等事業において134百万円少なく、セグメント利益は、会員権事業において10百万円、ホテルレストラン等事業において103万円、ゴルフ事業において１百万円、メディカル事業において１百万円、その他において０百万円、それぞれ少なく計上されております。また、当第２四半期連結累計期間において変更後の方法によった場合、売上高は、ホテルレストラン等事業において285百万円多く、セグメント利益は、会員権事業において21百万円、ホテルレストラン等事業において206百万円、ゴルフ事業において２百万円、メディカル事業において２百万円、その他において０百万円、それぞれ多く計上されます。

５　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「メディカル事業」セグメントにおいて、下記ののれんの金額が変動しております。

当社グループが積極的な展開を図っているシニアレジデンス事業を発展させるにあたっての基盤とするため、トラストガーデン㈱の株式を取得し、連結子会社としたことによりのれんが発生しております。

また、従来は非連結子会社でありました㈱ウェル・トラスト及びヒューマンライフサービス㈱も同様に今期より連結の範囲に含めたことにより、未認識でありましたのれん及び負ののれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては374百万円であり、負ののれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

該当事項はありません。

４.補足情報

営業内容（販売実績、稼働率等）を補足情報として添付しております。

なお、第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しております。これによる事業区分へ与える影響は軽微なため、前年同期比較を行っております。

(1) 販 売 実 績

区分			H21/12（前期実績） 数量	H21/12（前期実績） 金額（百万円）	H22/12（当期実績） 数量	H22/12（当期実績） 金額（百万円）
会員権事業	ホテル会員権	登録料売上	2,771口	8,274	2,618口	8,787
		不動産売上	925口	4,719	1,065口	6,795
		計		12,993		15,582
	その他			4,485		5,121
	小計			17,479		20,704
ホテルレストラン等事業	料飲売上			15,877		17,070
	宿泊料売上			9,683		10,351
	施設付帯売上			3,560		3,723
	運営管理費収入			3,839		4,195
	保証金償却収入			1,458		1,770
	その他			3,020		3,644
	小計			37,440		40,756
ゴルフ事業	登録料収入		351口	180	345口	240
	ゴルフ場売上			5,513		5,410
	年会費収入			287		295
	保証金償却収入			157		163
	その他			50		39
	小計			6,189		6,150
メディカル事業	登録料収入		88枚	474	354口	774
	医療用機器等賃貸料			1,035		692
	年会費収入			1,382		1,451
	保証金償却収入			952		953
	シニアレジデンス収入			-		2,061
	その他			326		259
	小計			4,171		6,192
その他	賃貸料収入			128		122
	その他			70		64
	小計			199		187
合計				65,480		73,991

（注）１．数量欄に記載のないものについては、取扱品目が多岐にわたり記載が困難のため記載しておりません。
２．会員権事業のその他は、会員権の解約合意金と営業貸付金利息収入等であります。
３．ホテルレストラン等事業のその他は、ローズルーム名古屋・大阪（レストラン）２店舗の売上高、名義書換料、ワンダーネット事業の売上高、通販収入、旅行部門の売上高、清掃業売上高、会員制ホテルの交換利用における手数料収入、ヘアアクセサリー等の製造・販売及びトータルビューティー事業、テレマーケティング事業の売上高等であります。
４．ゴルフ事業のその他は、営業貸付金利息収入等であります。
５．メディカル事業のその他は、会員権の解約合意金、営業貸付金利息収入、ロイヤルティ収入等であります。
また、当期より登録料収入の数量は口数を記載しております。
６．その他のその他は、営業貸付金利息収入、別荘管理料等であります。
７．上記の金額は、連結消去後の数値であります。
８．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 契 約 実 績

会員権事業のホテル会員権の契約実績は次の通りであります。

（単位　百万円）

区　分	H21/12（前期実績）				H22/12（当期実績）			
	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高
登録料部分	－	8,274	8,274	－	－	8,787	8,787	－
不動産部分	25,306	8,648	4,719	29,235	10,766	9,894	6,795	13,866
保証金部分	－	2,681	－	－	－	3,123	－	－
そ　の　他	－	－	4,485	－	－	－	5,121	－
計	25,306	19,603	17,479	29,235	10,766	21,805	20,704	13,866

（注）１．「その他」は、会員権の解約合意金と営業貸付金利息収入等であります。
　　２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) ホテル別 売上高・消費単価

		売上高（百万円）		消費単価（円）	
		H21/12（前期実績）	H22/12（当期実績）	H21/12（前期実績）	H22/12（当期実績）
エクシブ	エクシブ箱根離宮	-	2,848	-	21,030
	エクシブ京都八瀬離宮	2,913	2,931	19,839	19,696
	エクシブ那須白河	970	894	27,178	26,969
	エクシブ浜名湖	1,952	1,739	18,772	17,984
	エクシブ初島クラブ	1,706	1,546	19,876	19,281
	エクシブ鳴門＆ＳＶ＆ＳＶⅡ	1,465	1,438	14,915	14,489
	エクシブ蓼科	1,828	1,612	17,128	16,454
	エクシブ琵琶湖	2,197	2,234	18,310	18,103
	エクシブ山中湖＆ＳＶ	2,181	1,952	17,323	16,717
	エクシブ淡路島	524	483	14,294	14,022
	エクシブ軽井沢＆ＳＶ	1,611	1,529	15,114	14,950
	エクシブ白浜＆アネックス	1,318	1,264	12,852	12,732
	エクシブ伊豆	858	754	12,116	11,591
	エクシブ鳥羽＆アネックス	1,948	1,838	13,756	13,685
	エクシブ小計	21,479	23,067	16,756	16,870
サンメンバーズ	サンメンバーズリゾート	2,240	2,160	12,588	12,671
	サンメンバーズシティ	837	1,024	6,920	6,413
	サンメンバーズ小計	3,078	3,184	10,293	9,644
トラスティ	トラスティ神戸旧居留地	351	402	7,844	8,501
	トラスティ東京ベイサイド	502	502	8,634	8,657
	トラスティ心斎橋	686	703	10,685	10,832
	トラスティ名古屋栄	433	437	7,615	7,876
	トラスティ名古屋	388	413	6,432	6,535
	トラスティ小計	2,362	2,458	8,301	8,505
ＢＣＣ	東京ベイコート倶楽部	2,202	2,434	37,080	36,071
ホテル合計		29,122	31,145	―	―

※１．「ＢＣＣ」は「ベイコート倶楽部」の略称であります。
※２．「ＳＶ」は、「サンクチュアリ・ヴィラ」の略称であります。
※３．エクシブ箱根離宮は平成22年３月22日に開業しております。

(4) ホテル別 宿泊客数・室稼働率

		宿泊客数（人）		室稼働率（%）	
		H21/12（前期実績）	H22/12（当期実績）	H21/12（前期実績）	H22/12（当期実績）
エクシブ	エクシブ箱根離宮	-	135,444	-	90.6
	エクシブ京都八瀬離宮	146,865	148,835	84.5	86.8
	エクシブ那須白河	35,726	33,161	76.8	72.0
	エクシブ浜名湖	104,027	96,731	63.0	59.1
	エクシブ初島クラブ	85,869	80,199	52.1	48.5
	エクシブ鳴門＆ＳＶ＆ＳＶⅡ	98,282	99,284	64.0	64.9
	エクシブ蓼科	106,766	98,000	56.5	52.4
	エクシブ琵琶湖	120,015	123,442	54.8	56.8
	エクシブ山中湖＆ＳＶ	125,941	116,786	57.6	53.7
	エクシブ淡路島	36,670	34,445	45.9	42.3
	エクシブ軽井沢＆ＳＶ	106,649	102,277	58.4	57.3
	エクシブ白浜＆アネックス	102,601	99,319	50.2	49.5
	エクシブ伊豆	70,827	65,116	42.1	39.1
	エクシブ鳥羽＆アネックス	141,652	134,332	47.3	45.7
	エクシブ小計	1,281,890	1,367,371	56.3	56.8
サンメンバーズ	サンメンバーズリゾート	178,000	170,508	51.7	49.6
	サンメンバーズシティ	121,087	159,738	65.3	71.2
	サンメンバーズ小計	299,087	330,246	57.8	60.1
トラスティ	トラスティ神戸旧居留地	44,770	47,337	85.7	92.4
	トラスティ東京ベイサイド	58,185	58,044	77.1	75.6
	トラスティ心斎橋	64,258	64,901	90.6	90.9
	トラスティ名古屋栄	56,957	55,524	86.4	85.4
	トラスティ名古屋	60,396	63,292	77.1	79.8
	トラスティ小計	284,566	289,098	83.0	84.2
ＢＣＣ	東京ベイコート倶楽部	59,394	67,488	29.3	33.5
ホテル合計		1,924,937	2,054,203	—	—